

道の駅 羊のまち 侍・しべつ

井出 俊博



1. はじめに

2021年5月、士別市街の国道40・239号沿いに道の駅として誕生しました。愛称を「羊のまち侍・しべつ」とし、まちなか交流プラザが正式な建物名称となっております。士別市は、地域ブランド羊肉「士別サフォークラム」を味わえるレストランや特産・名産品を揃えるアンテナショップとしての機能に加え、市民の交流の場、地域活性化につなげるための工夫に力を入れています。

当館の概要は、次のとおりとなります。

道の駅の概要

名 称	羊のまち侍・しべつ
住 所	北海道士別市大通東5丁目440番23
駅 長	井出 俊博
営業時間	9:00～18:00(アンテナショップ) 10:00～20:30(レストラン)
休 館 日	年末年始(12月30日～1月3日)



写真-1 道の駅外観

2. 道の駅名称由来

当館は、士別市の中心市街地の活性化や市民交流、観光情報の発信、交通の利便性向上などを目的に、まちなか交流プラザとして誕生しました。「羊のまち侍・しべつ」という愛称で、道内129番目の道

の駅として登録されました。愛称は市民公募により選ばれたもので、道内に「しべつ」という地名が2か所あることから、わかりやすく武士の「士」をとって「侍・しべつ」としました。



写真-2 道の駅看板

3. 士別市について

士別市は、北海道北部の中央に位置し、道立自然公園「天塩岳」をはじめとする山々に囲まれ、北海道第2の大河「天塩川」の源流域を有する豊かな水と緑が豊かな田園都市です。

「天塩川」がもたらす豊かな水と肥沃な大地に恵まれ、農業を基幹産業として発展してきました。

気候は、上川北部の盆地にあるため、四季の変化がはっきりとした内陸性気候で、5月から9月上旬までは比較的高温多照に恵まれますが、気温の日較差が大きく、年較差も大きなものとなっています。また、11月中旬頃から降り始め、まちを約半年にわたって白く覆う雪は、平地でも1m、山間部では2mを超えるなど、積雪寒冷な豪雪地帯でもありません。

明治32年に最北で最後の屯田兵の入植によって開拓の鍬がおろされた旧「士別市」は、昭和29年に当時の士別町、上士別村、多寄村、温根別村の1町

3村が合併し、道内20番目の市として誕生しました。その後、平成17年に当時の士別市と朝日町が合併し、現在の「士別市」が誕生しました。



写真-3 お米の生産地

顔の黒い羊「サフォーク」をまちづくりの中心とした『サフォークランド士別』の取組みは30年を超え、本市の代表的観光スポットである「羊と雲の丘」や地域ブランド羊肉「士別サフォークラム」を中心とする「まちおこし」に取り組んでいます。



写真-4 羊と雲の丘では羊が食む景色が広がる

また、スポーツ合宿のまちでもあり、冷涼な気候のもと、国内外のトップアスリートなどが心身を鍛える『合宿の里』としての取り組みを進め、年間2万人のアスリートが士別で合宿を行っています。世界に挑戦する選手たちをサポートできるまちを目指しています。

このほか、積雪寒冷な自然条件を生かした『自動車等試験研究のまち』として、自動車やタイヤメーカーなどによる試験が盛んに行われています。

札幌市から車で約2時間半、人口は約18,000

人と大きな街ではないですが、札幌市に次ぐ面積からなる大自然が織りなす景観に多くの方が魅了され、士別市に別荘を持たれる方もおり、士別市の魅力をまちづくり応援大使としてお伝えされている方もおります。

4. 道の駅館内の様子

館内は、随所に木の温もりが感じられ、地域の農産物や加工品を販売するアンテナショップ、「士別サフォークラム」など地元食材を活用したメニューを提供する「レストラン武士(たけし)」、子どもが遊べるキッズスペースなどを設けています。

インフォメーションでは、市内の観光情報発信だけでなく、移住定住のコーディネーターを設置し、総合的な地域案内を行っております。また、高速バスの停留所が設置され、市内循環バスに接続されるなど交通の結節点として、士別の賑わいと交流の拠点として期待されています。



写真-5 道の駅内観(特産品販売)



写真-6 道の駅内観(レストラン武士)

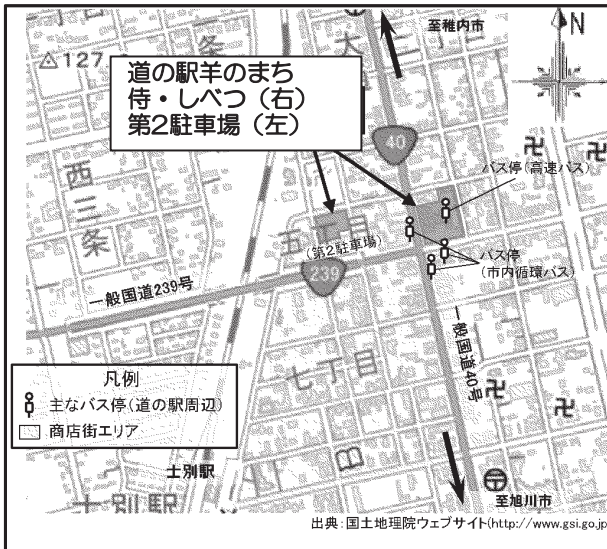
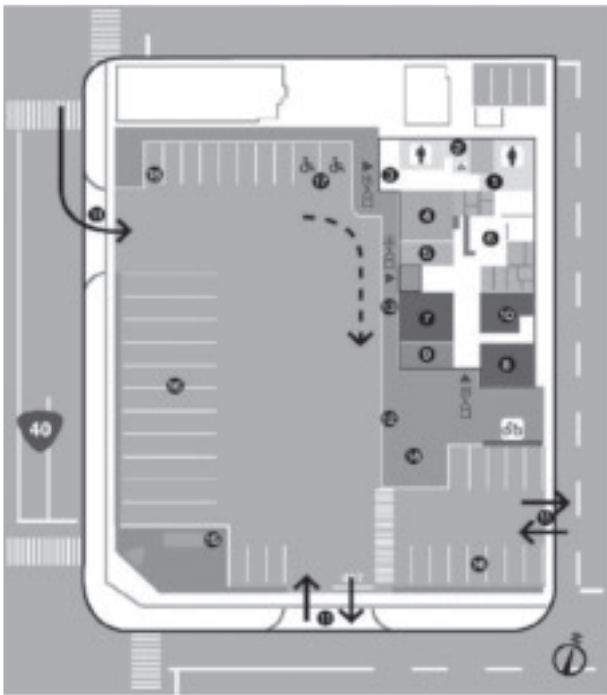


図-1 道の駅位置図



- | | |
|--------------|---------------|
| ① トイレ | ⑪ 出入口 |
| ② 調乳室・オムツ交換室 | ⑫ バス停 |
| ③ 待合スペース | ⑬ 庇 |
| ④ アンテナショップ | ⑭ マチノヒロバ |
| ⑤ チャレンジショップ | ⑮ 融雪槽 |
| ⑥ 事務室 | ⑯ 駐車場 |
| ⑦ カフェスペース 1 | ⑰ 車いす・思いやり駐車場 |
| ⑧ カフェスペース 2 | ⑱ EV 駐車場 |
| ⑨ キッズスペース | |
| ⑩ テナントショップ | |

図-2 室内配置図

5. 来客状況

開業から半年で来場者数が 27 万人を超え、当初の年間目標来場者数の 12 万人を大きく上回る結果となっております。2021 年度は北海道で新たに認定された道の駅が当施設のみだったことも大きな起因の一つかと考えられますが、海外 10 か国 50 施設を超え、日本全国で 1200 あまりの「道の駅」のネームバリューを強く感じ、道の駅として運営できますことに大きく喜びを感じました。



写真-7 オープンセレモニー(2021年5月1日)

6. 商品開発

道の駅が地元オープンするとして、多くの地元事業者の方が、商品開発に力を入れ始めております。冷凍・冷蔵の「甘酒」や地元産酒米のみを使った「つくもの酒」、トマトジュース、地元で加工している「オメガオイル」、また、つくも 4 号大豆の特産品開発事業者の団体が当市に誕生しました。



写真-8 つくもの酒



写真-9 北のハイグレード食品に選ばれた商品
 左：亜麻仁油(2021年)
 右：有機トマトジュースクリア(2022年)

中心商店街の一角に立ち並ぶ施設として、地域に訪れた方に中心市街地へ足をお運びいただけるように、土別市中心商店街振興組合様やサフォークスタンプ協同組合様と連携した様々なイベントを開催したり、チャレンジショップのスペースを活用し新たに出店、起業する意欲のある若者たちの後押しをしたいと考えております。



写真-10 屋外クイックハウスで販売している商品
 左上：ラム串、右上：ラム肉コロッケ、下：羊のおやき

7. サフォーク羊でまちおこし

40年以上、「サフォーク羊」でまちおこしをしている土別市ですので、地元産サフォークラムジンギスカンをはじめ、サフォークにちなんだお菓子や羊皮を使った工芸品、地元の加工品の新たなラインナップを掘り起こし、ほかにない道の駅にしてみたいです。レストランでは地元食材「土別サフォークラム」をはじめ、特徴あるメニュー提供に努めておりますので、ぜひ一度お越しください。



写真-11 ジンギスカン



写真-12 サフォークラムチョップ



写真-13 羊肉加工品
 左上：羊籠包、右上：くんせい
 左下：ライスバーガー、右下：ラムスライス



写真-14 羊毛工芸品(ラグマット)



写真-15 羊皮工芸品(財布ほか)

8. おわりに

先日、某誌の道の駅総合満足度ランキングで11位の快挙を達成しました。これも一重にWEBページをいち早く運用していたこと、SNSの定期的な情報の発信がもたらしたことと考えておりますが、直近では、市内のイベント情報が一目でわかるよう、イベント共有カレンダーを公開しております。

また、先日の開業1周年イベントに合わせて、「羊のまちの春まつり」と題して7日間のイベントを行いました。

初日の羊肉の日(4月29日)記念日には、当館のオリジナルジンギスカンの発売や、5月1日には、開業1周年に道内プロスポーツチームのマスコットキャラクター等の皆さまをお招きし、多くの方に「羊のまち」の魅力をお届けできたことと推察されます。

今後とも、地域の皆様と連携して、ご来場の皆様との交流の場となるよう、努めてまいりたいと考えております。皆さまどうぞよろしくお願いいたします。



井出俊博(いで としひろ)

まちづくり士別株式会社
 代表取締役専務 兼 道の駅駅長

